

# 港湾の中長期政策「PORT 2030」

港湾の中長期政策について、平成 28 年 4 月以降、交通政策審議会港湾分科会にて議論が進められ、審議等を踏まえて、中長期政策『PORT 2030』が平成 30 年 7 月 31 日に発表された。

本政策では、我が国港湾をとりまく情勢・展望・中長期政策の基本理念に基づき、将来の港湾政策の基本理念に基づき、「2030 年の港湾が果たすべき役割」として 3 つの概念を提示し、今後、特に強く推進していくべき施策の内容を、8 つの柱として整理している。

## 「PORT2030」の構成

### ★我が国の港湾を取り巻く情勢

- ・ 東南アジアをはじめとする新興市場の拡大と生産拠点の南下
- ・ アジアのクルーズ市場の急成長
- ・ 資源・エネルギー獲得競争の激化と低炭素社会への移行
- ・ 世界の主要港におけるコンテナターミナルの自動化の進展
- ・ 近隣諸国における主な港湾・交通戦略
- ・ パナマ運河拡張や北極海航路の本格利用に伴う資源の調達先や輸送ルートの多様化

### ★国内外の社会経済情勢の展望

1. 新興市場の拡大と生産拠点の南下、外国人旅行者の増加
2. 人口減少・超成熟社会の到来と労働力不足
3. 第 4 次産業革命の進展
4. 資源獲得競争の激化と低炭素社会への移行
5. 巨大災害の切迫とインフラの老朽化

### ★港湾の中長期政策の基本理念

1. 地政学的な変化やグローバルな視点を意識する
2. 地域とともに考える
3. 「施設提供型」から「ソリューション提供型」に発展させる
4. 「賢く」使う
5. 港湾を「進化」させる

### ★2030 年の港湾が果たすべき役割

- ・ 列島を世界につなぎ、開く港湾【Connected Port】
- ・ 新たな価値を創造する空間【Premium Port】
- ・ 第 4 次産業革命を先導するプラットフォーム【Smart Port】

### ★中長期政策の方向性（8 本柱）

- ① グローバルバリューチェーンを支える海上輸送網の構築
- ② 持続可能で新たな価値を創造する国内物流体系の構築
- ③ 列島のクルーズアイランド化
- ④ ブランド価値を生む空間形成
- ⑤ 新たな資源エネルギーの受入・供給等の拠点形成
- ⑥ 港湾・物流活動のグリーン化
- ⑦ 情報通信技術を活用した港湾のスマート化・強靱化
- ⑧ 港湾建設・維持管理技術の変革と海外展開

資料) 国土交通省ホームページ『港湾の中長期政策「PORT 2030」』より作成

[http://www.mlit.go.jp/kowan/kowan\\_PORT\\_2030.html](http://www.mlit.go.jp/kowan/kowan_PORT_2030.html)

# 「PORT2030」 主な施策

## 1. グローバルバリューチェーンを支える海上輸送網の構築



## 2. 持続可能で新たな価値を創造する国内物流体系の構築



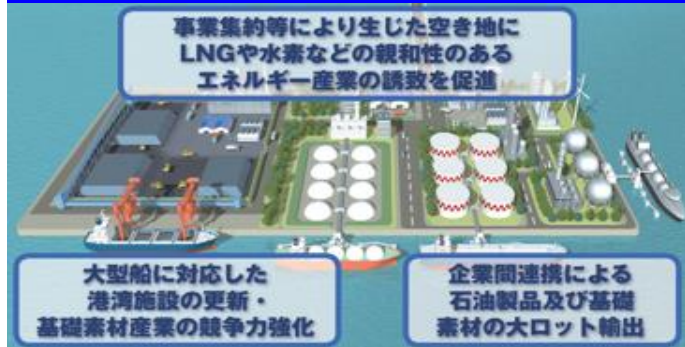
## 3. 列島のクルーズアイランド化



## 4. ブランド価値を生む空間形成



## 5. 新たな資源エネルギーの受入・供給等の拠点形成



## 6. 港湾・物流活動のグリーン化～CO2 排出源・吸収源対策～



## 7. 情報通信技術を活用した港湾のスマート化・強靱化



## 8. 港湾建設・維持管理技術の変革と海外展開



資料) 国土交通省ホームページ報道発表資料『港湾の中長期政策「PORT 2030」(平成30年(2018年)7月31日公表)]より作成  
[http://www.mlit.go.jp/kowan/kowan\\_PORT\\_2030.html](http://www.mlit.go.jp/kowan/kowan_PORT_2030.html)